

【クローゼットは服をコーディネートする場所】



ファッションに関係するものは、意識が「美」につながっているもので、増えやすく、また、手放す決心もゆるくなりがちです。特に服やバックなどは、処分できないモノのひとつです。

整理をする時には、自分を中心にして考えます。いくら素敵な服を持っていても、見せたいのは「服」ではなく、服を着た「自分」です。自分を素敵に魅せてくれない服は要らないのでは？と考えられる様になると捨てる力も上がります。

そんな要らないモノが邪魔をして、せっかくの大事なモノが隠れてしまわない様なマイクロゼットを目指しましょう

服の整理と収納



服を整理する時は、「〈現在〉今、着ている？」を意識します。処分の対象は「〈過去〉以前に着ていた」「〈未来〉いつか着るかも」など今、着ていない服です。

すぐに処分の決心がつかない時は無理せずに、一箇所にまとめて「仮処分」の扱いにしておきます。

今、着ているモノと一旦でも分けておくことがポイントです。しばらくすると着なかったことで、諦めがつきます。

収納は、かける(吊るす)、引き出しの中は重ねないなど見えるように工夫します。収納率70%程度が理想です。

また、日頃から、自分のコーディネートのパターンをいくつか持っておき、何を何枚(何着)持てばいいかを決めておくと、衝動買いが防げ、着られない服を買ってしまう事がなくなります。

バックの整理と収納



ファッションの世界では、バッグは小物の扱いです。

小物には、服を活かす役目があるので、使い古された感があるモノは処分を検討するといいでしょう。

バッグは「高かった」なども捨てられない理由になりますが、買取り査定額などから、今の価値を知ることも手放すきっかけになります。

入れ子の要領で収納すればスペースは少なくて済みますが取り出しにくく、しまいにくいのでよく使うものは単独で立てて収納をおすすめしています。

バッグの中は、バッグインバッグなどを利用して、大まかに区切っておくとモノが迷子になりません。バックを取り替える時にも便利です。